

市販柑橘果汁 100%ジュース中の防ばい剤と有機りん系農薬の残留実態

最近、市販の果実飲料は本物志向により果汁 100%が増えており、柑橘系のものも多くみられます。柑橘類の大部分はアメリカやブラジルから輸入されており、しばしば防ばい剤(カビ防止)や有機りん系農薬(防虫など)が検出されています(最下段 参考の表参照;残留基準内のものがほとんどで、残留基準を超過したものは販売停止となります。)

そこで柑橘類を原料とする果汁 100%ジュースへの防ばい剤や有機りん系農薬の残留が懸念されましたので、平成 13 年 1~6 月に福岡市内で販売されている柑橘果汁 100%ジュース 47 検体(表 1)について 4 種類の防ばい剤と 32 種類の有機りん系農薬を調査しましたが、全ての検体で検出されませんでした。

(定量下限値:防ばい剤 チアベンダゾール及びイマザリル 0.01ppm、オルトフェニルフェノール及びジフェニル 0.1ppm、有機りん系農薬 0.005~0.05ppm)

これは、ジュースの原料である濃縮果汁を産地で加工することからポストハーベスト処理(輸送中のカビや害虫などを防止するために収穫後に農薬などを散布すること)する必要がない等の理由で、輸入柑橘類に多く残留している防ばい剤や農薬は検出されなかったものと思われます。

表1 検査した柑橘ジュース一覧

種 類	検体数			
	濃縮還元	ストレート	不明	合計
オレンジ	21	2	2	25
グレープフルーツ	12	1	1	14
レモン	2	0	1	3
温州みかん	1	1	0	2
温州みかんオレンジミックス	3	0	0	3

参考: 平成7~11 年度に福岡市食品衛生検査所が福岡市中央卸売市場で収去検査した  
輸入柑橘類の防ばい剤と農薬を検出した検体数 (カッコ内は検出率)

食品名	総検体数	チアベンダゾール	イマザリル	オルトフェニルフェノール	ジフェニル	クロルピリホス
オレンジ	36	22 (61%)	34 (94%)	10 (28%)	0 (0%)	15 (42%)
グレープフルーツ	34	32 (94%)	25 (74%)	10 (29%)	0 (0%)	2 ( 6%)
レモン	27	11 (41%)	20 (74%)	16 (59%)	0 (0%)	8 (30%)

定量下限値:チアベンダゾール イマザリル オルトフェニルフェノール 0.1ppm,  
ジフェニル 0.5ppm,  
クロルピリホス 0.01ppm